

みいよく通信



「地域連携教員研修 兼 地域教育コーディネーター研修」の報告

(12月23日(月)開催)

標記研修会が、栃木県総合教育センターにて、123名の関係者の方（地域コーディネーターや地域協議会の委員、教員など）が参加し、開催されました。

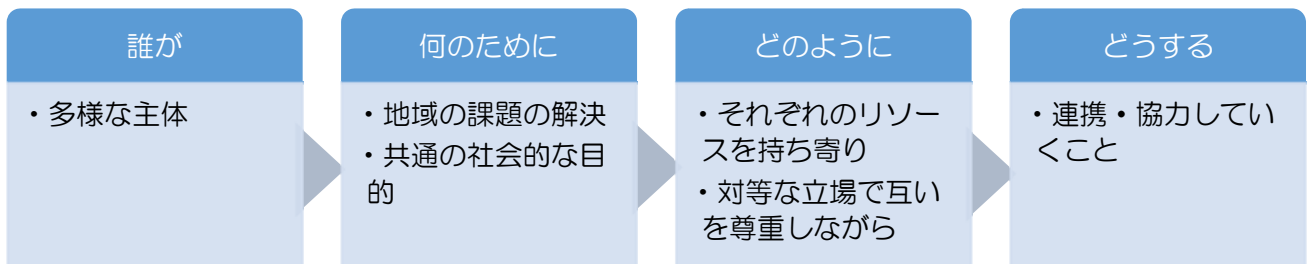
講話 「学校と地域の協働 ～地域の特性を生かし更なる高みへ～」

とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら

管理運営団体：NPOとちぎ協働デザインリーグ 主任研究員 小針 協子 氏



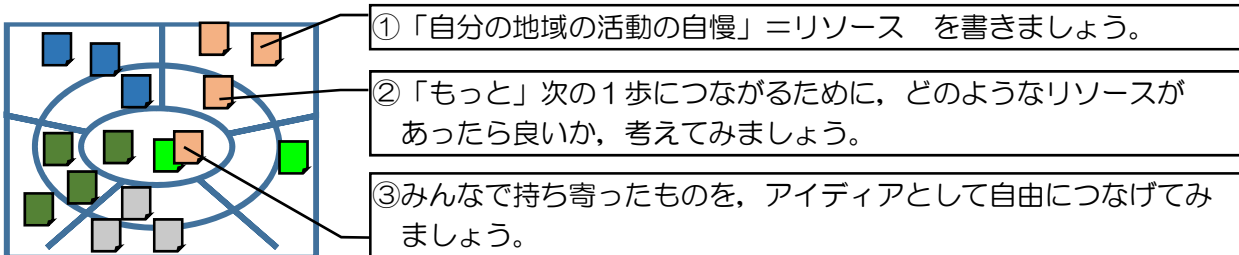
協働とは



- 協働のために、自分の地域のリソース（資源・特性）を確認しましょう。
- 人を巻き込むには、「コミュニケーションの工夫」と、「活動の工夫（楽しさ・温かさ・おいしさなど）」と、「周知の工夫」が大切です。そうすると活動が拡がり・深まり・共感を得られ、次につながります。
- 学校が関係する活動は、子どもから親へのつながりでボランティアを呼び込めることが強みです。
- 地域の活動では、直接の対話でボランティアが見つかることも多いので、積極的に探していきましょう。

今回のグループワークについて

- 模造紙に、以下のように線を引きます。（中央に丸を2つ、5人なら直線で5分割）



- グループワークで、多様な人たちで見つめる・考えることはとても重要です。お互いを知ることで関係が深まり、次につながります。
- 「決める会議」と「決めない会議」の使い分けは、職場でも地域でも大事です。

研修に参加した学校の先生やコーディネーターさんから

ほかのところの面白い活動・活動の工夫や秘訣

- 子どもたちが参加する活動として、「お祭りのお店」というのが工夫されていて面白かった。お店を回ってポイントを貯めると、おもちゃと引き換えができる。子どもたちからアイデアをもらうのも良い。
- 見守り隊として、犬の散歩をしている方に協力をお願いします。＝「ワンワンボランティア」
- 活動が長く続くには、ボランティアが集まる場所の確保や、お願いする手順をパターン化するのも効果的

活動のこれからの課題や期待

- 地域の見守り隊などに、近隣大学生などの協力が得られれば良いので、大学との連携も考えたい。
- なかなか活動機会が増えないので、たとえば地域学校園単位に活動の範囲を広げることによって、活動機会やボランティアを確保したい。
- 前向きな先生やコーディネーターの皆さんにお会いできて励みになったので、今後も頑張っていきたい。



「地域教育コーディネーター全体研修～地域教育コーディネーターの果たす役割～」の報告(2月20日(木)開催)

標記研修会が、栃木県総合教育センターで開催されました(主催:栃木県総合教育センター生涯学習部)。

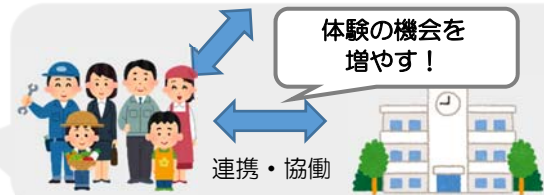
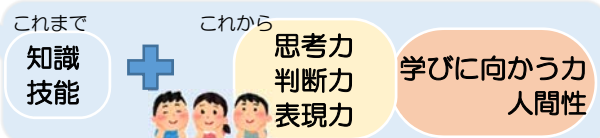
講話 「地域教育コーディネーターに期待される役割」

NPOスクール・アドバイス・ネットワーク 事務局長 井上 尚子 氏

～これからの子どもたち～

- これからの社会の変化により、子どもたちの未来の仕事や、求められる力も変わっていきます。
- これからの子どもたちへの教育は、さまざまな体験をすることで多くの経験を積み重ねて、ゆくゆくは将来のキャリアにつながっていくようなものを増やしていく必要があります。
- 地域と学校が連携・協働することで、子どもたちとのナナメの関係性を培い、子どもたちの体験の機会を増やすことがとても重要です。

新しい時代に必要な資質・能力
➡ 他者と協働し、価値を生み出すこと



～コーディネーターとして～




- コーディネートとは、地域と学校の双方向の連携と、ニーズや提案のマッチングです。
- コーディネーターが学校・地域・家庭のつなぎ役になることで、子どもたちの教育に多様性が生まれます。
- 地域と学校が、共通の目標に向かっていますか?関係者の目標がすれ違って、「貸し借り」関係になっていませんか?



例) 遠足の引率の際に、地域と学校が協力して、事前の共通認識を図り、事後の振り返りによって、次の子どもたちの体験活動に活かす など

コーディネート・調整で大切なこと

お互いが
分かり合うこと 語り合うこと

コミュニケーションをとる工夫を!

「学校との連携」 心得 七か条 	「地域との連携」 心得 七か条 
<p>一、学校の教育方針や、学校内のルールを尊重しましょう。</p> <p>二、学校支援者は、学校（先生方）の立場を尊重することで、子どもたちの豊かな学びを応援します。</p> <p>三、自分の考えを無理強いするのではなく、学校の希望・地域の希望をよく聞き、ともに活動しましょう。</p> <p>四、地域による地域の自主活動を学校で行う場合も、場が「学校」であるということを忘れずに。あくまでも学校の意見や時間を尊重しましょう。</p> <p>五、学校へは、苦情やクレームではなく、子どもたちのために何ができるかを「提案」していきましょう。</p> <p>六、教職員との連絡は学校の業務を尊重して工夫しましょう。</p> <p>七、内容が決まったら事前に打ち合わせをするなど、双方の希望の調整をしておくトラブルが防げます。 </p>	<p>一、活動依頼は早めにしましょう。</p> <p>二、協力をお願いする内容については、学習のねらい・当日の流れ・活動場所・時間などについて事前によく打合せをするようにしましょう。</p> <p>三、協力してくださる方の所属により、依頼書画などが必要になることがあります。いずれにしても文書での依頼は間違いがないので、作成するようにしましょう。</p> <p>四、児童生徒の写真を撮る場合などは、あらかじめ許可を得ておく必要が生じる場合がありますので、配慮をしましょう。</p> <p>五、協力者へのお礼も忘れずに、手紙やメール、電話で行うようにしましょう。</p> <p>六、個人情報の取扱いには注意しましょう。</p> <p>七、教材をコピーして使用するときは著作権について注意を要する場合もあるので、事前に確認をしておきましょう。</p>

「子どもたちの前に立つとき」 心得 九か条 	
<p>一、主体となるのはあくまでも児童・生徒です。支援者であるという姿勢を忘れないようにしましょう。</p> <p>二、ボランティアだからといって、自分の好きなことばかりやっているとはいけません。希望をよく聞き、共に活動しましょう。</p> <p>三、活動で知り得た個人情報や秘密事項は、固く守り、決して口外しないようにしましょう。</p> <p>四、活動は時間が命です。与えられた時間を超過しないようにしましょう。</p>	<p>五、児童・生徒の学齢、状況を尊重しましょう。</p> <p>六、児童・生徒には、分かりやすく話しましょう。</p> <p>七、児童・生徒には、公平な態度で接しましょう。</p> <p>八、児童・生徒、一人ひとりの人格を尊重し、「ほめる」姿勢をもちましょう。</p> <p>九、児童・生徒が求めていることは何か、きちんと理解するようにしましょう。 </p>

R1年度実績報告・R2年度事業計画等の提出にご協力いただき、ありがとうございました

2月10日から21日の9日間で、93の魅力協の皆様から書類の確認・お預かりをさせていただきました。お忙しいところご協力・ご対応いただき、大変ありがとうございました。

魅力協の会議資料や広報誌など、まだご提出いただいていないところが若干ございますので、今一度ご確認をお願いいたします。また、生涯学習課担当から、細かな修正のお願いなどをさせていただく場合があります。新年度の事業が円滑にスタートできるよう、担当一同準備を進めてまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



お知らせ

魅力ある学校づくり地域協議会の
パンフレットが新しくなります！



※画像は完成イメージです。

魅力ある学校づくり地域協議会の活動の活性化を図るため、新しいパンフレットを作成しています。

地域協議会の皆さまには、このパンフレットを活用し、自治会等の地域や企業、大学・高校との更なる連携やボランティア等の人材確保を図っていただければ幸いです。

パンフレットが完成しましたら、皆さまのお手元に送付致しますので、お楽しみにお待ちください！

◎パンフレットには各協議会のPRスペースを設けます！

◎パンフレット送付の際に、PRスペース用のラベル用紙も一緒にお送りしますので、ぜひご活用ください！